

日
時
会
場
講
師

2014年 12月 10日 (水)

18:30 ~ 20:30

立教大学池袋キャンパス 10号館 X203 教室

中村 江里

(関東学院大学非常勤講師 / 立教大学ジェンダーフォーラム教育研究嘱託)



檜山高雄『青春暫痛』

立教大学ジェンダーフォーラム主催・第64回ジェンダーセッション

戦争と男の「ヒステリー」——アジア・太平洋戦争と日本軍兵士の男らしさ——

【講師プロフィール】

関東学院大学非常勤講師 / 立教大学ジェンダーフォーラム教育研究嘱託。専門は日本近現代史・軍事史・精神医療史・ジェンダー史。主要論文に、中村江里「日本陸軍における男性性の構築—男性の『恐怖心』をめぐる解釈を軸に」（木本喜美子・貴堂嘉之編『ジェンダーと社会—男性史・軍隊・セクシュアリティ』旬報社、2010年）、中村江里「日本帝国陸軍と『戦争神経症』—戦傷病者をめぐる社会空間における『心の傷』の位置」（『季刊戦争責任研究』日本の戦争責任資料センター、第81号、2013年）、中村江里「十五年戦争と元・兵士の心的外傷—神奈川県精神医療施設に入院した患者の戦後史」（足羽興志子・中野聡・吉田裕編『平和と和解』旬報社、2014年12月刊行予定）。

「ヒステリー」の語源は古代ギリシャ語で子宮を意味する hystera に由来し、西洋では古くから女性に特有の病とされ、一世紀以降「ヒステリー」が近代精神医学の対象となつてからも基本的には「女性の病」として考へられてきた。しかし、長期的で苛烈な戦闘を特徴とする総力戦に動員された兵士たちの間で、多くの「男らしさ」が失われた。太平洋戦争期に日本軍兵士として戦った兵士は、戦時中や戦後の社会で「男らしさ」を再構築する。戦時中や戦後の社会で「男らしさ」を再構築する。

お問い合わせ先 立教大学ジェンダーフォーラム
TEL/FAX : 03-3985-2307 E-mail : gender@rikkyo.ac.jp
<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/gender/>